

課題番号：処-202

課題名	廃炉プロセス「処理・処分・環境回復（燃料に由来するα核種が含まれる廃棄物含む）」 検討対象「廃棄物の減容化、廃棄体化」 課題「廃棄体化手法」	時間軸情報	汚染水対策				
			使用済燃料プールからの燃料取り出し				
段階	Design		燃料デブリ取り出し				
			PCV/RPV/建屋の解体				
ニーズ	望ましい状態とその理由		輸送・保管・貯蔵				
			処理・処分・環境回復				1,2,3
			(参考) 関連する研究課題				
1	廃棄体の性能、信頼性を向上させたい	●廃棄体の性能、信頼性を向上させるために、廃棄物の性状に応じた廃棄体化技術手法を選定し、その手法、評価方法を高度化することが望まれる。	【実施されている研究課題】				
			H31年度英知「高い流動性および陰イオン核種保持性を有するアルカリ刺激材料の探索と様々な放射性廃棄物の安全で効果的な固化」				
			【検討されている研究課題】				
			特になし				
2	廃棄物をガラス固化したい	●様々な放射性廃棄物の組成から減容性、運転性、安定性等に優れたガラス組成を設定できるようにするために、廃棄物の組成からガラスの組成を決定するための知見等の整備が望まれる。	【実施されている研究課題】				
			特になし				
			【検討されている研究課題】				
			特になし				
3	廃棄物を安定化したい	●廃棄物に対しては、その性状を踏まえ安全かつ合理的な保管・管理を行うこと、及び先行的処理の方法を合理的に選定する手法を構築することが望まれる。	【実施されている研究課題】				
			H31年度英知「高い流動性および陰イオン核種保持性を有するアルカリ刺激材料の探索と様々な放射性廃棄物の安全で効果的な固化」				
			H31年度英知「燃料デブリ取出しに伴い発生する廃棄物のフッ化技術を用いた分別方法の研究開発」				
			H31年度英知「アパタイトセラミックスによるALPS沈殿系廃棄物の安定固化技術の開発」				
			【検討されている研究課題】				
			特になし				
関連する課題	処-101「性状把握」 処-102「廃棄物戦略」 処-203「処分概念の構築」 処-204「性能評価」 処-205「廃棄体確認、分析方法」						